

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場会社名 株式会社日本触媒

上場取引所 東大

コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤忠夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 内海勝議

TEL 06-6223-9111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満は四捨五入して表示)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	55,154	△33.7	2,298	△37.2	2,832	△44.6	1,252	△62.3
21年3月期第1四半期	83,168	—	3,659	—	5,114	—	3,318	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.03	—
21年3月期第1四半期	18.37	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	310,673	156,201	49.0	855.74
21年3月期	302,948	151,662	48.8	831.11

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 152,324百万円 21年3月期 147,944百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.50	—	7.00	15.50
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	117,000	△32.0	5,000	△14.1	5,000	△30.1	3,100	50.9	17.41
通期	250,000	△13.5	12,000	—	12,000	—	7,600	—	42.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。]

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	187,000,000株	21年3月期	187,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	8,997,363株	21年3月期	8,991,929株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	178,005,205株	21年3月期第1四半期	180,585,663株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## [定性的情報・財務諸表等]

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産など一部に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢の悪化、低調な個人消費や設備投資の減少などの影響を受け、前期に引き続き景気が低迷するなかで推移しました。

化学工業界におきましては、アジア諸国など一部地域の需要に回復の兆しがみられるものの、円高や原油価格が上昇傾向にあること、国内需要の減退などにより、厳しい事業環境のなかで推移しました。

## (1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	83,168	55,154	△ 28,014	△ 33.7%	289,102
営業利益	3,659	2,298	△ 1,361	△ 37.2%	622
経常利益	5,114	2,832	△ 2,281	△ 44.6%	757
四半期(当期)純利益	3,318	1,252	△ 2,065	△ 62.3%	△ 5,307
1株当たり四半期(当期)純利益	18.37円	7.03円	△ 11.34	△ 61.7%	△ 29.61円
ROA(総資産経常利益率)	5.8%	3.7%	—	△2.1ポイント	0.2%
ROE(自己資本当期純利益率)	7.8%	3.3%	—	△4.5ポイント	△ 3.3%
為替(\$、EUR)	\$=¥104.56	\$=¥97.36	¥△7.20		\$=¥100.58
	EUR=¥163.44	EUR=¥132.66	¥△30.78		EUR=¥143.66
ナフサ価格	70,900円/kl	33,300円/kl	△37,600円/kl		58,900円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、需要低迷による販売数量の減少に加えて、大幅な原料価格安、一部の製品市況下落および円高等によって製品価格も著しく低下したため、前第1四半期連結累計期間に比べて280億1千4百万円減収(△33.7%)の551億5千4百万円となりました。

利益面につきましては、製造経費、販売費および一般管理費等の各種経費削減を進めたものの、生産・販売数量減少等の減益要因をカバーし切れなかったため、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べて13億6千1百万円減益(△37.2%)の22億9千8百万円となりました。

経常利益は、営業外損益が金融収支の悪化や持分法投資利益の減少、更には資産売却益の減少等により前第1四半期連結累計期間に比べて9億2千万円減益となったため、22億8千1百万円減益(△44.6%)の28億3千2百万円となりました。また、四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に比べて20億6千5百万円減益(△62.3%)の12億5千2百万円となりました。

## (2) セグメント別の概況

## ◎事業の種類別

## [基礎化学品事業]

アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレンおよび高級アルコールは、原料価格安等により販売価格が大幅に低下し、販売数量も減少したため、減収となりました。

エチレングリコールおよびエタノールアミンは、需給バランスの緩み等によって市況が下落し、販売数量も大幅に減少したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べて40.5%減少し、211億2千3百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量の減少や一部の製品市況が下落したため、前第1四半期連結累計期間に比べて55.7%減少し、10億1千4百万円となりました。

## [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、販売数量を僅かに増加させたものの、原料価格安や円高等により販売価格が低下したため、減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、特殊エステル、無水マレイン酸および樹脂改質剤は、販売数量が大幅に減少したことに加えて、原料価格安等により販売価格も低下したため、減収となりました。

洗剤原料、粘接着剤・塗料用樹脂、粘着加工品およびよう素化合物は、販売数量が減少したため、減収となりました。

電子情報材料は、光学フィルム用材料等の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べて17.0%減少し、317億3千8百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が減少したものの、原料価格安や経費削減等により収益性が改善され、前第1四半期連結累計期間に比べて75.9%増加し、17億8千4百万円となりました。

#### [環境・触媒事業]

自動車触媒は、販売数量が大幅に減少したことに加えて、貴金属価格安によって販売価格も低下したため、大幅な減収となりました。

プロセス触媒は、当第1四半期連結累計期間での取替需要がほとんどなかったため、大幅な減収となりました。

脱硝触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

排水処理触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べて75.8%減少し、22億9千2百万円となりました。

営業利益は、主にプロセス触媒の生産・販売数量が大幅に減少したため、前第1四半期連結累計期間に比べて13億3百万円減少し、4億4千8百万円の赤字となりました。

#### ◎所在地別

##### [日本]

需要低迷による販売数量の減少に加えて、原料価格安等により製品価格も低下したため、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて38.7%減少し、381億4千8百万円となりました。

営業利益は、各種経費削減を進めたものの、生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前第1四半期連結累計期間に比べて46.0%減少し、21億3百万円となりました。

##### [欧州]

原料価格安や円高等により高吸水性樹脂の販売価格が低下したため、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて17.8%減少し、86億9千3百万円となりました。

営業利益は、原料価格安等で収益性が改善したことにより、前第1四半期連結累計期間に比べて1億1千万円増加し、2億1千7百万円となりました。

##### [アジア]

コンクリート混和剤用ポリマーは販売数量を伸ばしたものの、高吸水性樹脂、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量が減少し、更には原料価格安等により販売価格も低下したため、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて29.4%減少し、45億9千2百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前第1四半期連結累計期間に比べて2億9千2百万円減少し、1億3千6百万円の赤字となりました。

##### [その他の地域]

高吸水性樹脂は販売価格の是正を進めたことにより増収となりました。一方、コンクリート混和剤用ポリマーおよび洗剤原料は販売数量が減少したため減収となりました。その結果、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べて4.6%減少し、37億2千1百万円となりました。

営業利益は、主に高吸水性樹脂の収益性改善により、赤字から黒字に転換し、3億7千3百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて77億2千5百万円増加の3,106億7千3百万円となりました。たな卸資産は減少したものの、現金及び預金や投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて31億8千5百万円増加の1,544億7千2百万円となりました。借入金も減少したものの、仕入債務や引当金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて45億4千万円増加の1,562億1百万円となりました。その他有価証券評価差額金の増加や為替換算調整勘定の変動などによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の48.8%から49.0%へと0.2ポイント増加しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて24.63円増加の855.74円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フロー及び借入金返済等の財務活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べて62億1千3百万円増加の356億6千3百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の30億2千万円の収入に対し、154億5千6百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益は減少したものの、たな卸資産の減少や法人税等の支払額の減少などによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の39億9千4百万円の支出に対し、48億6千7百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の34億円の収入に対し、47億円の支出となりました。借入金返済による支出が増加したことなどによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期の業績が概ね計画通りに推移しており、平成21年5月7日発表の業績予想を変更していません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ① 会計基準等の改正に伴う変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

#### ② 表示方法の変更

前第1四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「不動産賃貸料」(前第1四半期連結累計期間258百万円)は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,872	29,925
受取手形及び売掛金	53,552	52,904
商品及び製品	21,520	21,363
仕掛品	6,724	7,068
原材料及び貯蔵品	11,238	13,930
その他	10,828	12,961
貸倒引当金	△215	△251
流動資産合計	139,520	137,900
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	44,374	45,382
その他(純額)	78,744	74,103
減損損失累計額	△3,138	△3,031
有形固定資産合計	119,980	116,454
無形固定資産		
のれん	1,730	1,848
その他	2,299	2,140
無形固定資産合計	4,029	3,987
投資その他の資産		
投資有価証券	31,483	27,988
その他	16,013	16,944
貸倒引当金	△352	△324
投資その他の資産合計	47,144	44,607
固定資産合計	171,153	165,048
資産合計	310,673	302,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,087	23,196
短期借入金	27,782	28,950
1年内返済予定の長期借入金	12,116	12,614
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	483	405
賞与引当金	3,590	2,235
その他の引当金	2,163	1,929
その他	13,886	12,514
流動負債合計	91,107	86,842
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	37,499	38,775
退職給付引当金	8,426	8,465
その他	2,440	2,205
固定負債合計	63,364	64,444
負債合計	154,472	151,286

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,529	16,529
資本剰余金	13,562	13,562
利益剰余金	132,784	132,778
自己株式	△7,973	△7,970
株主資本合計	154,902	154,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,726	41
繰延ヘッジ損益	△141	△155
為替換算調整勘定	△5,163	△6,842
評価・換算差額等合計	△2,578	△6,955
少数株主持分	3,877	3,717
純資産合計	156,201	151,662
負債純資産合計	310,673	302,948

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	83,168	55,154
売上原価	69,683	44,574
売上総利益	13,485	10,580
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,782	2,796
人件費	1,774	1,760
研究開発費	2,807	2,457
その他	1,464	1,268
販売費及び一般管理費合計	9,826	8,282
営業利益	3,659	2,298
営業外収益		
受取利息	65	43
受取配当金	512	259
持分法による投資利益	398	259
不動産賃貸料	—	262
その他	1,092	312
営業外収益合計	2,068	1,135
営業外費用		
支払利息	351	356
その他	262	244
営業外費用合計	613	601
経常利益	5,114	2,832
税金等調整前四半期純利益	5,114	2,832
法人税、住民税及び事業税	2,123	180
法人税等調整額	△397	1,380
法人税等合計	1,726	1,560
少数株主利益	70	20
四半期純利益	3,318	1,252



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,114	2,832
減価償却費	4,349	3,829
受取利息及び受取配当金	△577	△302
支払利息	351	356
持分法による投資損益 (△は益)	△398	△259
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,339	△259
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,658	3,406
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,469	2,533
その他	2,131	3,017
小計	5,442	15,154
利息及び配当金の受取額	1,434	760
利息の支払額	△327	△368
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,934	△90
その他の支出	△596	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,020	15,456
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,991	△5,237
投資有価証券の売却による収入	567	2
その他	431	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,994	△4,867
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,333	△1,455
長期借入れによる収入	491	—
長期借入金の返済による支出	△2,040	△1,972
配当金の支払額	△1,448	△1,246
少数株主への配当金の支払額	△18	△16
自己株式の取得による支出	△919	△5
その他	1	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,400	△4,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△518	323
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,908	6,213
現金及び現金同等物の期首残高	21,371	29,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,279	35,663

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,473	38,235	9,461	83,168	—	83,168
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,863	475	973	11,312	(11,312)	—
計	45,336	38,709	10,434	94,480	(11,312)	83,168
営業利益又は営業損失(△)	2,287	1,014	855	4,156	(497)	3,659

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,123	31,738	2,292	55,154	—	55,154
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,091	332	248	4,671	(4,671)	—
計	25,214	32,070	2,541	59,824	(4,671)	55,154
営業利益又は営業損失(△)	1,014	1,784	△448	2,350	(52)	2,298

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 基礎化学品事業 アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール、グリコールエーテル
- (2) 機能性化学品事業 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品
- (3) 環境・触媒事業 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置

## ②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	62,189	10,576	6,502	3,900	83,168	—	83,168
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,653	11	479	16	10,160	(10,160)	—
計	71,842	10,588	6,981	3,917	93,328	(10,160)	83,168
営業利益又は営業損失(△)	3,894	106	156	△ 297	3,859	(201)	3,659

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	38,148	8,693	4,592	3,721	55,154	—	55,154
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,799	24	21	18	4,862	(4,862)	—
計	42,946	8,717	4,613	3,740	60,016	(4,862)	55,154
営業利益又は営業損失(△)	2,103	217	△136	373	2,557	(259)	2,298

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州 ……………ベルギー

(2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国

(3) その他の地域 北米……………米国

## ③海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	13,935	11,957	5,300	4,205	35,396
II 連結売上高(百万円)					83,168
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.7	14.4	6.4	5.1	42.6

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	9,608	9,633	4,709	3,446	27,396
II 連結売上高(百万円)					55,154
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.4	17.5	8.5	6.3	49.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国

(2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国

(3) 北米 ……………北アメリカ諸国

(4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。